

平成25年度 飯豊町立手ノ子小学校の学校経営

- ◇諸法規
- ◇学習指導要領
- ◇5教振・県の重点
- ◇事務所の重点
- ◇町の方針・重点

目指す子ども像（学校教育目標）

- 1 よく聞き よく話す子 **（創造）**
- 2 だれとでも なかよくする子 **（共生）**
- 3 力を合わせて やりぬく子 **（自立）**

- ◇本校の特色・伝統
- ◇児童の実態
- ◇教師の願い
- ◇保護者・地域の願い

<スローガン> **『響き合い』**（2年目）

<基本的な考え> *学校経営のすべての分野で実現していく

『響き合い』を基盤とした学校経営を行うことにより、『自尊感情』と『共感的なかわり』を育み、『個の確立（自立）』をめざす

* 響き合い→自分を大切に思う気持ち・他を大切にすることを大切に育む
 ① 自尊感情…大切にされている実感（心に寄り添う指導）、持ち味・良さの発揮
 ② 心のかかわり…認め認められる人間関係、依存できる関係（心の通い合う学級）
 ③ 個の確立…社会性、たくましさ、自立（自己判断・自己決定・行動化）

<今年度の重点目標> *昨年度の学校経営の「深化」
「授業を核」にした学校づくり＝「協同的な学び」の日常化

<今年度の重点的な取り組み>

【響き合う学び】 協同的に学び合い、一人一人が自己の学びと成就感を持つ(知)
 * 自己の考え→協同的な学び→教科の本質→成就感
 (1) 学習基盤の確立：基礎・基本の確実な定着、学び方の習得、学習習慣の確立
 ◎ (2) 協同的な学びの推進
 ① 没頭する学び：子ども同士が精一杯考えあい、表現しあう授業
 * 格好良い表現ではなく、本気で考えるボソボソを大切にしている
 ② 教師のコーディネート：聴く・つなぐ・もどす・ケアする
 * 子どもの思い・声を聴き見とり、学びにつなげる
 ③ 授業デザイン：教科の本質を捉え、子どもの思考に添った授業
 * 深い教材研究・子どもの見とり・教師の学び合いにより力量の向上を図る

【響き合う生き方】 共感的にかかわり、自尊感情・仲間意識を高める(徳)
 * 自尊感情⇔共感的なかわり→仲間意識→社会性(豊かな心)
 (1) 生活基盤の確立：規範意識・生活集団のルール・人としての生き方の醸成
 ◎ (2) 共感的なかわりの推進
 ① 学級づくり：互いの良さを認め合い、自尊感情・仲間意識を高める学級
 * 持ち味の発揮・協力して解決する体験・感動体験の共有による仲間意識
 ② 自治活動：仲間と協力して自分たちで創り上げる学級・学校
 * 「育てる」視点で子どもに任せる（事前の打ち合わせ・指導をしっかりと）

【響き合う命】 自他の「命」を大切にし、心身の健康を自己管理する(体)
 * 命の大切さ(自分・他の人)→健康・安全の自己管理(体・心)
 (1) 健康・安全の基盤の確立：命の大切さの自覚、健康・安全教育、防災教育
 ◎ (2) 自己管理能力の育成
 ① 健康の自己管理：継続的な運動、食育・生活リズムの確立、病気の予防
 ② 安全の自己管理：危険の予測・回避・対応

【地域との響き合い】 地域の特色を生かした教育活動を展開する(地)
 * 地域の理解→地域が大好き→地域に誇り→社会性(豊かな心)
 (1) 地域とのかかわりの深化：地域の自然・文化・歴史・人々を生かした教育
 (幼小連携活動・体験学習・地域の先生・ボランティア活動など)
 ◎ 統合に伴う中津川地区との連携(地域・公民館・子ども育成会・民生委員会等)
 ◎ 学習参加の導入：保護者の学習参加の実施（授業参観3回のうち1回は実施）

* 同僚性の向上：全員で子どもを育てる、教室を開く、学び合う、自律と協力

※ 飯豊町の教育の重点：①学力の充実 ②体力・運動能力の向上 ③いじめ・不登校の防止
 町研アクションプラン：①i+1 ②重点種目の強化と検証 ③Q-Uの実施と活用